

## 第83回環境審議会 議事概要

令和8年2月20日（金曜日）13時～14時

明石市役所北庁舎3階会議室

出席委員：7名

### 【議事1】明石市一般廃棄物処理基本計画の改定について

#### ● 事務局より説明（資料1）

・計画の見直しの経緯や、資源循環推進部会の設置について説明

#### ● 主な質疑

（委員A）新ごみ処理施設の整備に向けて、これから具体的に動き出すと思うが、ごみ焼却熱を利用して発電した電気をどのように使うかという点について、高砂市などでは、地域新電力会社を通じて、公共施設で使う取組も始まっているので、そのような取組も参考にしながら、発電した電気を地産地消するようなことも将来的には考えた方がいいかと思う。そのような話は、今回の一般廃棄物処理基本計画の議論の範囲に入るか。

（事務局）発電した電気をどのように使うかなどの具体的な計画は、今後、新ごみ処理施設整備に係る事業者と話をしていくことになる。取組の大枠としては、市内で活用できるような検討もできればと思う。

（事務局）この度の新ごみ処理施設整備に係る事業者選定の募集要項において、発電した電気の使い方について、地産地消も含めて提案をもらうこととしている。今後、事業者の提案内容もふまえ、具体的な点は詰めていくことになるので、一般廃棄物処理基本計画の見直しと足並みをそろえながら、検討できればと思う。

（委員B）施設の話以外にも、一般廃棄物の処理全体を考えると、例えば、生ごみからメタンガスを回収して、自動車の燃料として利用するような取組もあるので、地域で資源が循環するような新しいシステムにしていくことも、計画改定の中で考えるかと思う。

（事務局）メタンガス化施設の導入については、新ごみ処理施設の計画の中で検討はしたが、様々な課題があり、新ごみ処理施設には導入しないことになった。新ごみ処理施設の計画との整合性を取りながら進めていきたい。

（委員B）将来的な技術進歩により解決する課題もあるかもしれないので、長い目で見て考えてもらえたらと思う。

（委員C）缶・瓶・ペットボトルの回収方法について、それらを混合収集した場合、どうしても瓶のガラスが割れてしまい、リサイクル率が非常に低くなるといわれている。ある自治体では、大きな破碎施設を作った関係で、どうしても瓶とペットボトルが一緒になってしまい、リサイクル効率が非常に悪くなっているのがある。新ごみ処理施設の整備にあたっては、破碎系の施設の規模（大きさ）は考えた方がいいかと思う。ペットボトルはペットボトルだけで純粹に収集する方が、効率よく水平リサイクルできる。

(事務局) 新ごみ処理施設では、缶・瓶・ペットボトルは同じ収集区分で、混合収集になる予定。破碎設備の規模については、事業者からの提案を踏まえ、具体的な話はこれからになるが、今お聞きした内容をふくめ、事業者と詰めていければと思う。

(委員 B) リサイクルの前段階として、分別はやはり重要になるので、今までやってきた方法はあるが、少し新しく考えてもいいのかと思う。議論させてもらえたらと思う。

## 【議事2】 生物多様性あかし戦略の改定について

### ● 事務局より説明（資料2）

・戦略の策定経過、パブリックコメントの実施結果と計画案への反映について説明

### ● 主な質疑

#### <概要版について>

(委員 B) 本日午前中の自然環境部会でも、各委員よりさまざまな意見をいただいた。一つ大きな話としては概要版について議論があった。概要版は、計画の概要版としての扱いと、子供たちへの教育や啓発にも使えるようにという2つの目的をもって作成したが、子供たち向けとしては、文字が多く難しいため、子供向けは別途作成した方がよいのではないかという意見が出た。

(委員 A) 子供向けの内容を別途検討するということだが、冊子にあまりこだわる必要はないかとも思う。難易度があがるかもしれないが、例えば、環境教育に紙芝居を使う事例などもあるが、読むのが上手な方などが学校や保育所などに出前講座に行き、紙芝居で戦略の内容を子供目線で伝えるのもよいのではないか。デジタルの時代だからこそアナログを取り入れるという方法も、選択肢の1つとして検討してもらえたらと思う。

(委員 B) 子供たち向けという話の中で、この戦略は本編とそれ以外の部分を切り離して、切り離した部分を環境教育に活用できるというような構成になっていたか。

(事務局) 本編とそれ以外の部分は図鑑になっており、図鑑の部分は、写真が多用されていて、印刷して環境学習のフィールドで活用できるようになっている。

(委員 D) 図鑑もいいが、動画もいいかと思う。実際に動いている感じも含めて伝わりやすい。ホームページにアップして活用もできる。

(委員 B) 大阪市の生物多様性の保全に向けたネットワーク会議の取組の中で、新梅田シティにある新里山エリアの魅力を伝える動画を大学生が作り、発表するというプロジェクトを実施している。若い人たちは、動画の作成などに長けている部分もあるので、例えば中学生などに動画を作ってもらい、発表してもらう取組などでもいい案かと思う。若い世代の力も借りつつ、面白く伝えていく方法も今後ありうるかと思う。

#### <指標等について>

(委員 C) 概要版を見ると、谷八木小学校の子たちがアマモを植えるという取組をされている。また、ミッション⑩の沿岸海域で新しい生態系を作り出し、豊かな海づくりを進めるという項目でも、藻場を作ると記載しているので、例えば、パブリックコメントで意見

のあった生物多様性に係る定量的な指標（目標）についても、アマモが毎年どれくらい増えたかを把握すると、取組との整合性もとれていいのではないかと思うがいかが。

（委員 A）アマモを指標とする場合は、どのくらい植えたかなど、純粹にどんな努力（活動）をしたかを指標にすることはありうるかと思う。藻場の面積を実際に把握するとなると、コストが結構かかると思う。

（事務局）市では、豊かな海づくり課において、アマモの藻場の取組を江井島などの地域で実施している。谷八木地域で何をどこまでできるかということはあるが、生物多様性に有効な手段と思うので、関係課と連携してやっていきたい。

（委員 B）生物多様性という視点では、担当課が違うということはあるかもしれないが、戦略の改定を契機にいろんな視点でみるようにするとよい。例えば、藻場は、航空機の燃料になるとか、海の養殖のようなことなどを含め、いろいろな可能性がある。そういう視点でも先んじて取り組めるとよい。意見を担当課にも伝えて連携してもらえたらと思う。

#### <その他取組について>

（委員 B）小学校のアマモや藻場に関する取組などは、他の小学校にも紹介してあげるとよいのではないか。明石は、いろいろな生態系・異なる条件で生き物が暮らしているので、地域交流のようなことも含めて進めていくとよいのではないか。

（事務局）明石では、小学校3年生で年間を通して環境学習をするカリキュラムがある。例えば、海に近い学校は海をテーマに、ため池が近ければため池をテーマに、それぞれの校区に近いフィールドを使って環境体験学習をしている。そして、年間を通して学んだことをパネルにまとめて、3月に開催される環境フェアで展示している。その内容を見ると、各学校がそれぞれどのような取組をしているかを知ることができる。

（委員 C）概要版の「みなさんにお願いしたいこと」に記載されている「管理者」とは、誰のことを指しているか。

（事務局）管理者は、行政を含め土地を管理する土地所有者など。

（委員 B）管理者の役割としては、例えば公園などでは、これまではみんなが喜ぶから桜を植えましょうというような考え方だったかもしれないが、それだけでなく、地域に根差した樹脂を選びましょうとか、生き物が喜ぶようなものを選びましょうとか、生物多様性に配慮した管理をお願いしますということになるかと思う。

（会長）大きな修正意見はなかったので、本案を環境審議会の答申とさせていただきます。

### 【議事3】 その他報告

#### ● 事務局より説明（資料）

- ・新ごみ処理施設整備・運営事業に係る優先交渉権者の決定等について報告